

NPO 法人幕別札幌スポーツクラブ

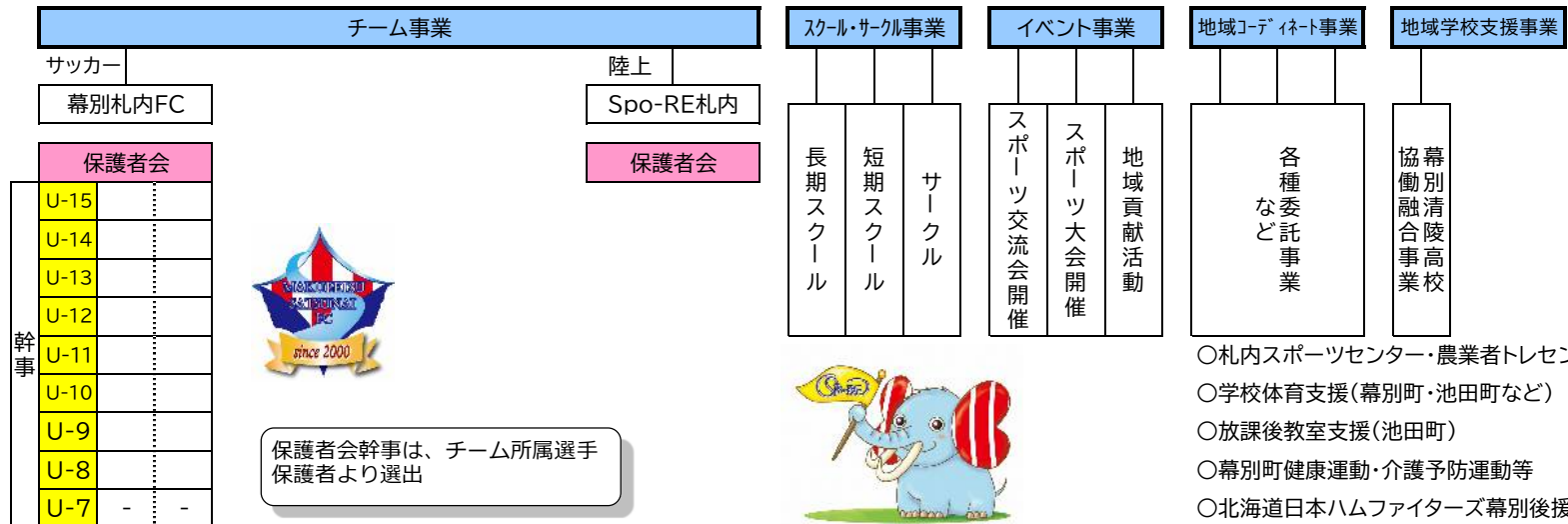
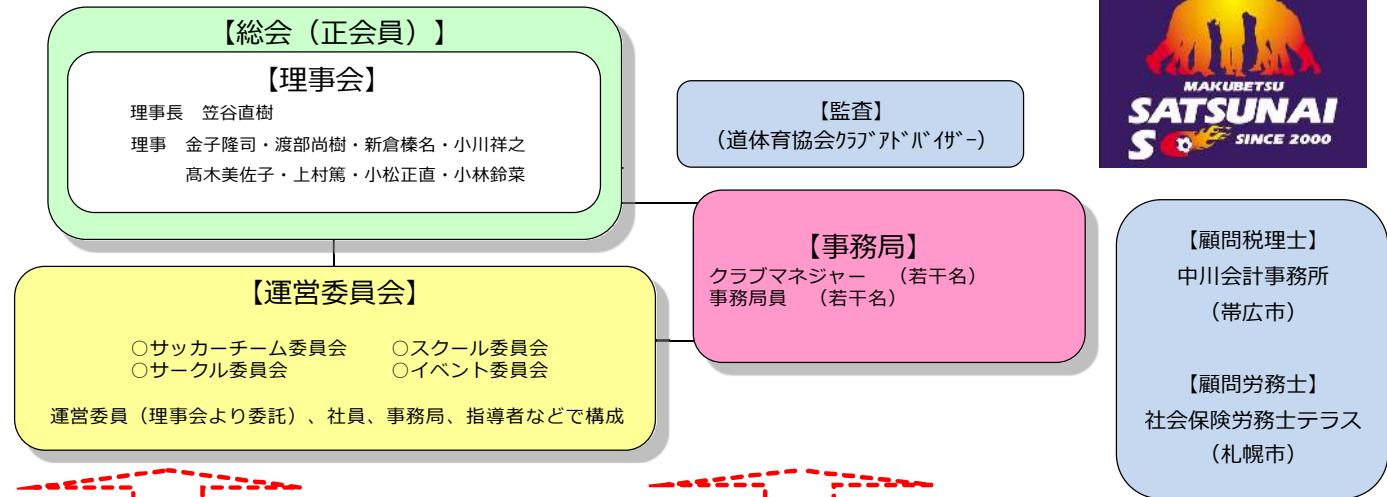


幕別札幌FC

2021年度 説明会資料

NPO法人幕別札幌スポーツクラブ運営組織図

本クラブの組織は、理事会と事務局を中心に、運営委員会を開催し企画・運営をしていく。
理事は理事会において選出し、総会の議決を経て承認される。報酬は支給しないが、常勤の職員には理事会の議決を経て支給することができる。



- 札幌スポーツセンター・農業者トレセン指定管理業務
- 学校体育支援(幕別町・池田町など)
- 放課後教室支援(池田町)
- 幕別町健康運動・介護予防運動等
- 北海道日本ハムファイターズ幕別後援会
- 幕別町スポーツ少年団事務局 など

地域のみなさま

「もっと強いドリブルで」
「今の守りはいいぞ」。5月下旬、緑豊かな幕別町札内川河川敷を訪れると、サッカーボールを追う小学生一人一人に声を掛けていた。NPO法人幕別札内スポーツクラブのマネジャー、小田新紀さん(43)は「スポーツを通して地域の子供を見守り、育てる活動をしたいです」と笑顔を見せた。

幕別札内スポーツクラブマネジャー

おだ あらき
小田 新紀さん

地域で子供育てたい

1以外に、職員3人を束ね、クラブ運営の責任者を務める。
出身は愛知県岡崎市だが、豊かな自然のある道内に憧れ、道教大札幌校に進んだ。スポーツクラブでアルバイト

をしていた時、健康指導をしていた会員から「体が軽くなる。毎日が楽しくなった」と言われた。野球に打ち込んだ中学時代は常に補欠要員で悔しい思いをしていただけに、「教える」楽しさを感じた。

1996年に卒業後、十勝管内の小学校教員に。体育の時間、汗だくの児童が、その後の授業に集中する様子を目にし、スポーツが教育に与える好影響を実感した。幕別札内北小に勤務していた200

るばかり。支援者が現れたこともあり、10年に退職した。スポーツクラブの設立に奔走し、少年団を総合型スポーツクラブに衣替えした。
設立から6年。活動の輪は町外にも広がる。管内七つのスポーツクラブでつくる親睦組織「Action10勝」の事務局長も兼任。バレーボールの元日本代表の成田郁久美さんや元コンサドーレ札幌の曾田雄志さんらを招き、指導会を催すなど他クラブとの交流にも力を入れる。

0年にはサッカー少年団を立ち上げた。「学校の枠を超え、より多くの子供たちを地域で育てたい」。そんな思いは募

今年は今秋、全会員が参加できるミニ運動会の開催も計画。「競技や世代を超え、町の大人が子供を育てるクラブを目指し、地域づくりに貢献したい」と夢を描く。(斉藤徹)

Monday
ひと

今年は今秋、全会員が参加できるミニ運動会の開催も計画。「競技や世代を超え、町の大人が子供を育てるクラブを目指し、地域づくりに貢献したい」と夢を描く。(斉藤徹)

(第3種郵便物認可)

幕別札内々指定管理者へ

あす町議会に提案

札内スポーツセンター 農業者トレーニングセンター

【幕別】町は体育施設の「札内スポーツセンター」（札内幌町287）と「町農業者トレーニングセンター」（錦町98）について、NPO法人幕別札内スポーツクラブ（笠谷直樹理事長）を指定管理者とする方針を固めた。31日に開会する町議会定例会に関連議案を提出する。両施設は2019年度から指定管理者制度による運営を行うことが決まっている。

両施設はともに体育館、武道館、トレーニング室を備え、札内地区と本町地区

の住民に欠かせないスポーツの拠点となっている。指定管理は民間による効



札内スポーツセンター



町農業者トレーニングセンター

率的な運営やサービス向上などが目的で、期間は5年間。町の募集には同クラブが唯一応募していた。

同クラブは札内地区で活動する総合型地域スポーツクラブ。2000年に発足した地域のサッカー少年団「幕別札内FC」から発展し、10年に設立した。サッカーのほか、陸上やタグラグビーなどのスクール事業、イベント運営などでスポーツの普及や振興、子どもたちの健全育成などに力を注いでいる。

町による両施設の運営管理費は今年度見込み額で総額4460万9000円（消費税を除く）。町は5年間の指定管理料について、2億1400万円に消費税を加算した額を上限額としている。

笠谷理事長は「もし指定管理者に認められれば、これまでの活動の延長線上として『みんなぞくろくスポーツパーク』をコンセプトに、幕別ならではの異世代交流の場をつくりたい」と話している。

（松村智裕）

幕別の「運動部活改革プラン」

国の委託事業に採択

【幕別】NPO幕別札内スポーツクラブ(笠谷直樹理事長)が提案した「運動部活動改革プラン」が、スポーツ庁の今年度委託事業に採択された。幕別清陵高校(澤田慎也校長)との連携を軸に「幼小中高校一貫指導体制の構築」「高校生が企画運営する多世代型運動部の創設」に取り組み、地域全体のスポーツ力向上を目指す。道内から同プランが採択されたのは初めて。

運動部の活動をめぐっては、顧問を務める教職員の長時間労働や、教職員に競技経験がなく専門的指導ができないなどの課題がある。スポーツ庁は、生徒にとって望ましいスポーツ環境の構築へ抜本的改革を進めている。

平昌五輪金メダリストの高木菜那、美帆姉妹(スピードスケート)ら多くの五輪選手を輩出し、スポーツを軸としたまちづくりを進める幕別町でも、少年団や部活動の指導者不足が顕在化。昨年4月に開校した幕別清陵高でも、部活動の充実が課題となっている。

委託事業は来年3月まで、事業費として約500万円が補助される。事業の調査・研究は、同クラブのスタッフや同校教諭、中学校の部活指導者、全国の総合型地域スポーツクラブ(SC)連絡協議会幹事長らで構成するプロジェクトミーティングが進める。プロジェクトサポーターとして

幕別清陵高陸上部は6月から週1回、NPO幕別札内スポーツクラブとの合同練習に汗を流している



「幼小中高校一貫指導体制の構築」では、幼児から高校生までの発達段階に応じた目標を設定、指導者に過度な負担を生まない指導方針の検討を進める。SCとの連携で顧問の負担軽減につなげるとともに、希望する教職員には勤務時間後に同クラブスタッフとして指導に当たることも想定する。

すでに同校陸上部は6月から週1回、札内スポーツセンターで同クラブ陸上チームの子どもたちと合同練習し、スタッフから専門的指導を受けている。また、「多世代型運動部の創設」では、部活に所属していない同校生徒や、さ

日常の「なぜ？」に「なるほど」示

らに活動を広げたい生徒らに、運動部の企画運営を担ってもらおう。町内のトランポリンやクライミングスタジアムの協力も得て、将来的には高校生だけでなく、地域に根付いた多世代型運動部を目指す。

同クラブの小田新紀クラブマネジャーは「地域の子どもたちのスポーツ環境が豊かになるよう、幕別のスタイルを確立していきたい」、澤田校長は「これを契機に今の部活動の在り方を改善し、働き方改革につなげていければ」としている。(澤村真理子)

部活動改革へ始動

スポーツ庁委託 幕別札内SCCが初会合

【幕別】スポーツ庁の運動部活動改革プラン委託事業に道内で初めて採択されたNPO法人幕別札内スポーツクラブ（SCC、笠谷直樹理事長）は2日、札内スポーツセンターで第1回プロジェクトミーティングを開いた。参加者が課題を共有し、新たな「幕別モデル」の確立へ思いを新たにしました。

モデル確立へ課題共有

国は生徒にとって望ましい部活動の環境整備と教職員の負担軽減に向け、休日



幕別モデルの構築へ思いを共有したプロジェクトメンバー

の部活動の段階的な地域移行などを進める方針。委託事業では、開校2年

目の幕別清陵高校（澤田慎也校長）との連携を軸に「幼小中高校一貫指導体制の構築」「高校生が企画運営する多世代型運動部の創設」の二つを進める。地域人材の効果的な活用などを通して、高校生のスポーツ活動を支える体制の構築や地域全体のスポーツ力向上を目指す。

プロジェクトメンバーは、SCC全国ネットの役員や道スポーツ協会のクラブアドバイザーら町内外のスポーツ・教育関係者らで構成し、この日は18人が参加した。

同SCCの小田新紀クラブマネジャーの事業概要の説明に続き、澤田校長が同校の部活動を取り巻く現状について紹介。生徒の加入率が半数程度にとどまることや、教員の長時間労働といった課題を挙げ、全学年がそろそろ来年度からは部活動境の一層の充実に取り組みを考えを示した。

意見交換では、「熱意のある」先生が転動すると同時に取り組みが終わってしまっケースは多々ある。それを「C」の指摘や「A」の取り組みがうまくいって「AUSC」

学校のみならず、地域が良くなる」との声が上がった。

（澤村真理子）

清陵高の部活動連携を視察

道教委

【幕別】部活動の今後の在り方の検討に向け、道教委の担当職員が10月29日、地域との連携による取り組みのモデルとして幕別清陵高校（澤田慎也校長）の活動を視察した。

同校陸上部は専門の指導者が不在のため、6月から週1回、札内スポーツセンターでNPO幕別札内スポーツクラブ（笠谷直樹理事長）の陸上チームの子どもたちと合同練習し、クラブのスタッフから専門的指導を受けている。

この日は道教委教職員課の今村隆之働き方改革担当課長、本吉恵美部活動対策推進係課長補佐ら4人が合同練習を視察。子どもたちと触れ合いながら練習に励む高校生たちに「学校での練習内容は」「合同練習に



道教委職員の質問に答える幕別清陵高陸上部の生徒たち（左）

よる成績への影響は」などと質問した。

今村課長は「小さな子どもたちの面倒を見ているのは高校生の教育活動としてもとてもいいこと。多くの地域で取り組んでもらいたいと思える活動」と話した。

（澤村真理子）

幕別清陵高の全生徒 スポーツクラブ会員に

減軽負担も可能に
教職員送迎バス

【幕別】幕別清陵高校(澤田慎也校長)は新年度、全校生徒を総合型地域スポーツクラブ「幕別札内スポーツクラブ」の会員に登録する。教育活動における生徒の移動手段の確保や教員の長時間労働などの課題解決を図るとともに、地域で生徒のスポーツや文化活動を支える持続可能な体制づくりを目指す。

同校は2019年4月に開校し、今年4月で全3学

年がそろそろ。クラブ会費は3年間で1人5000円(1・2年生は年間2000円、3年生は同1000円)で、幕別町から同校教育振興会への補助金を充てる。

クラブとの連携強化により、部活指導による教職員の長時間勤務の解消が期待されるほか、パークゴルフやスキー授業ではクラブスタッフが場所の予約や講師派遣の手配をし、学校の負

担軽減につなげる。

また、生徒がクラブ会員となることで、これまで課題だった部活動の大会や校外学習、地域でのボランティア活動などの際の移動手段として同クラブのバスによる送迎が可能となる。

一方、スタッフによる専門的指導などで協力するクラブ側は、ボランティアではなく、会費を納めてもらうことで持続可能な仕組みを整えていく。部活指導は

順次クラブに移行し、希望する教職員には勤務時間後にクラブスタッフとして、部活動や地域の小学生らの指導を担ってもらう。

将来的には運動部のほか、同クラブが窓口となつて地域の人材を紹介し、生徒や地域の子どもの文化系活動の充実にもつなげたい考え。澤田校長は「課題を検証しながら一つの形

をつくっていききたい。できることから取り組んでいければ」と話している。

同クラブは今年度、スポーツ庁委託事業の「運動部活動改革プラン」に採択され、全道の教育・スポーツ関係者でつくるプロジェクトミーティングで、地域一体となった部活動の在り方などについて調査・実践している。(澤村真理子)



幕別札幌内FC 指導方針

選手の将来のために

☆ 勝つこと・育てることのバランスを考えながら

- ・ 競技である以上、いかなる試合でも常に勝利を目指す、クラブ活動の「目的」ではない。
- ・ 目先の勝利を得るために、将来の大きな成長を阻害しない。例えば、けがや痛みのある選手を無理に出場させる、その時点での能力や体格に勝る選手に偏るといような選手起用をしない。
- ・ 次のステップアップに向けて、選手一人ひとりがそれぞれ夢と希望を持てるようにすること。
- ・ 選手の成長（発育や発達含む）を見極めながら、各年代で身に付けるべきことを優先。
- ・ Players First（プレイヤーズファースト）：何事も、選手たちにとって何が一番良いのかというという基準で考える。⇒ 選手を甘やかす、自分勝手を許すということではない。
- ・ 現時点での能力だけを観るのではなく、将来新たな能力を身に付けた時の姿を思い描きながら一人ひとりの選手に関わる。

コーチングの目的

☆ サッカーの「楽しさ」を伝え、クリエイティブでたくましく、豊かな人間性を育む。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| ① 動く楽しさ | (活動欲求が満足できる) |
| ② かかわる楽しさ | (仲間との支え合い高め合い、コミュニケーション能力の向上) |
| ③ できる楽しさ | (できないことができるようになる・・・技術の習得) |
| ④ 知る楽しさ | (知らなかったことを新たに知る・・・知識の習得) |
| ⑤ わかる楽しさ | (動き方がわかる・・・戦術理解) |



【解決法を「与える」のではなく、自ら「見出す」能力を育てる】

・ コーチからの発問に対し…選手が自分で考え…解決策を見出す。

(選手自身が判断する能力を磨く)

・ 「知識」を獲得するだけではなく、獲得した「知識」を活用・応用し、物事に対して、いつ、どんなときでも的確に対応できる「知恵」を身に付けられるよう促していく。

「観て、自分で判断してプレーする楽しさ」を得る



良い習慣の追求

☆ チームや仲間、支えてくれる方に貢献しようとする「努力・心構え・やる気」の育成

- ・ 『ON THE PITCH』(オン・ザ・ピッチ 試合・練習など)
 - ⇒ クリエイティブでたくましいプレー、選手同士の話し合いによる課題解決
- ・ 『OFF THE PITCH』(オフ・ザ・ピッチ 試合・練習以外など)
 - ⇒ 生活習慣をより良く
 - 「学業」との両立
 - バランスの良い「食事」
 - その場に適した「挨拶」
 - 適切な「休息」

様々な「体験」の蓄積

☆ 子どもの頃の様々なスポーツ体験、生活体験の重要性が叫ばれています。

科学的に証明されており、諸外国では当たり前のこと。

我々が最も大事にしていることの一つです。

☆ 「知・徳・体」ではなく、「体・徳・知」を。

☆ 「成功体験」と「失敗体験」のバランス

☆ 大人が見守り、寄り添い続ける。

☆ 多くの仲間の中で、子どもたちは自然に育む。様々な立場の仲間との交流。

(一人ひとりがみんなを成長し、みんなが一人ひとりを成長させる)

総合型クラブとしての一貫指導

☆ 考え方・コンセプトを全スタッフが共通理解のもと幼児から中学生まで指導にあたる
他分野からの視点で選手の多様性を見出す

- ① 長期目標・短期目標
- ② 年間、月間、週間のトレーニングの目的と内容
- ③ 選手一人ひとりの能力と、チームの評価
- ④ 総合型クラブとしてのやくそくごと
- ⑤ 総合型クラブとしての理念追求

英才教育より複数競技

子どもとスポーツ 第11部

けがをなくそう

下

きょうラグビーを覚え、翌週は野球で、別の日はサッカー……。東京都豊島区を拠点とする小学生対象のスポーツ教室「ボールパーク」は、五つの球技に取り組み。毎回変わる練習内容に、子どもたちからは「今度は何？」と、はしゃぎ声上がる。

バランス良く

運営会社の齊藤祐也社長(37)は「色んな球技をやってバランス良く体を鍛えてもらいたい」と狙いを語る。「種目数はさらに増やす予定。一つのスポーツに特化してはいないので、けがもしくい」

自身は小学生時代に水泳、剣道、野球を経験し、中学でサッカーを習った。高校からラグビーを始め、明大からサントリーへ。ナンバー8として日本代表の

多様な経験、試合でも生きる

中心選手まで上り詰めた。「自分はサッカーで身についた視野の広さがラグビーに生きた。色んな筋肉を鍛えていたので、けがも少なかった」。現役時代にプレーしたフランスのコロミーで、老若男女が色んなスポーツを楽しめるクラブを目の当たりにし、1年半前にこの教室を立ち上げた。

群馬県高崎市のNPO法人新町スポーツクラブの新町SVCスポーツ少年団も、多くの競技や遊びを体験させるのが特徴だ。活動日は毎週日曜日。ドッジボールやサッカーもするが、鬼ごっこや押しくらまんじゅうなど1日に複数の運動をこなす。同じスポーツを毎週のように続けることもなく、秋は野外活動、冬はスキーにも挑戦する。

成長期の子どもたちにとっては、1競技に特化することなく複数の競技に取り組んだ方が、特定の部位の使いすぎによるけがは減る。ところが、2011年に笹川スポーツ財団が日本スポーツ少年団の指導者約

700人を対象にした調査では、年間を通じて様々な競技を採り入れている指導者は9・3%に過ぎなかった。

特化が美德に

早大の友添秀則教授(スポーツ教育学)は「明治時代以降、日本社会は欧米に追いつけ追い越せだった。勝つためには、けがは仕方ないという考えがスポーツに定着。戦後も終身雇用が中心の社会で、人生で一つの道を究めることが美德とされた」。1競技に特化する傾向は、日本のスポーツ文化が背景にあるとみる。

米国やロシアの調査では、子ども時代に複数の競技を経験している選手ほど、高いレベルで長く活躍できることが示唆されている。

二つの習い事をする場合には、サッカーチームに所属しつつ、別のサッカー教室に通うなどのケースが目立つという。村田代表は「一つのスポーツをやるチームが、時には他のスポーツに取り組みことはできるはず。けがを減らすだけでなく、燃え尽き症候群やスポーツ嫌いの子どもを減らすことにもつながる」と提案している。(後藤太輔)

「ボールパーク」のスケジュール例

2015年	
1月 5日	ラグビー
	
19日	サッカー
	
26日	アメリカンフットボール
2月 2日	フライングフットボール
	
9日	ラグビー
16日	サッカー
3月 2日	フライングフットボール
16日	ラグビー
30日	野球

る。しかし、複数競技の経験者ほどスポーツの世界で成功するということを裏付ける本格的な研究は少なく、幼い頃からの英才教育で我が子をトップアスリートに願う親は多い。

スポーツをする子どもの親を対象に、子どもへの関わり方や安全対策などの情報発信をしているスポーツ一恵代表は、複数のスポーツを経験させるように勧められているが、「ハードルは高い」と現実を語る。掛け持ちをすると、どちらかのチームの試合を休まざるを得ず、迷惑をかけてしまう上、経費もかかるからだ。

二つの習い事をする場合には、サッカーチームに所属しつつ、別のサッカー教室に通うなどのケースが目立つという。村田代表は「一つのスポーツをやるチームが、時には他のスポーツに取り組みことはできるはず。けがを減らすだけでなく、燃え尽き症候群やスポーツ嫌いの子どもを減らすことにもつながる」と提案している。(後藤太輔)

五輪選手どう育てた？

幕別 出身3選手の両親語る

【幕別】東京五輪マウンテンバイク競技日本代表の山本幸平選手ら幕別町出身の夏季オリンピック3人の両親によるトークショー

(幕別町、同町教委主催)

が26日、町百年記念ホールで開かれた。選手の幼少時代や、親としての選手や競技との向き合い方について語り、70人余りの来場者が興味深く耳を傾けた。

「子どものスポーツを支えるための研修会」として開催。山本選手の父哲也さんと母美智子さん、陸上の福島千里選手の父輝幸さんと母玲子さんが登壇し、女子7人制ラグビーの桑井亜乃選手の父健志さん、母法子さんがオンラインで参加した。

山本選手は野球や剣道、福島選手はスケートやピアノ

ノ、桑井選手は陸上やアイスホッケー、日本舞踊など3選手は子ども時代に複数の競技や習い事を経験。桑井選手の母法子さんは「本人がやりたいことはやらせていた」とし、3選手の両親いずれも本人の希望を尊重していたと語った。

福島選手は小規模校の練習内小に通っていたため、輝幸さんは「いろんな友達をつくってもらいたいという思いで、いろんなクラブに入れさせてもらった」とし、玲子さんは「町外での陸上やスケート練習に参加するため」送り迎えばかりしていた。ご飯を食べる時間がないので、一口おにぎりを作って車の中で食べさせていた」と振り返った。

会場から「幼少期にさまざまなスポーツに打ち込ん

「本人のやりたいこと尊重」



トークショーに参加した(右から)山本、福島、桑井3選手の両親(26日、幕別町百年記念ホールで。小山田竜十撮影)

▶ 動画は電子版で

(が養われたのではないか)。食事に関する質問では、山本選手の母美智子さんが「高校生の頃から揚げ物は食べていない」とストイックな一面を明かした。

バドミントンに打ち込む中高生の子を持つ町内の露木雪絵さん(42)は「競技については指導者に任せて口出ししないことや、大変な送迎も楽しむことが大切なんだと思いました」と話していた。(澤村真理子)

だことが生かされている。選手の父哲也さんは「剣道か」との問いがあり、山本や卓球で瞬発力やバランス

子どもたち伝えたいこと

『最初からスケートばかりをやっていたわけではない。小さい頃から、いろいろなことをやってきた。』

『何か一つのことを極めていこうというとき、何か壁にぶつかった際に、いろいろしてきた経験が役に立った。』



親として避けるべし: 大学生アスリートに聞いた「子どものころのスポーツの最悪な思い出」



子どものスポーツの大会などを見に行くと、横柄な親の姿が目につきます。あからさまに、審判をやじったりコーチをバカにしたりして、子どもに恥ずかしい思いをさせる親もいます。でも、困った親はそれだけではありません。善意からの行為が、無意識のうち我が子のスポーツという体験を台無しにしているケースもあるのです。よかれと思ってやっているだけに、むしろこっちの方がやっかいなのかもしれません。

Proactive Coaching LLC のブルース・E・ブラウン氏とロブ・ミラー氏は、かつてスポーツコーチをしていた経験をいかし、学校などで大人向けの講演を行い、知らず知らずのうちに困った親にならないための方法を伝授しています。2人は数百人の大学生アスリートを対象に、子どものころにあったスポーツにまつわる最悪の思い出を調査しました。その結果、「試合終了後に親に送ってもらう車の中」という答えが圧倒的に多かったのです。

その理由は、「まだ汗も乾いてないうちに」、親が試合内容についてあーだこーだ言うからではないかと言われています。試合直後の子どもにとっては、勝ち負けは関係なく、自分のプレーやコーチの采配などについてグダグダ言われるのが嫌なのです。観客でも偽コーチでもなく、「親はただの親であってほしい」のが子どもたちの願いだと、ミラー氏は言います。

スポーツとは、子どもの人生において、「好きなようにやりなさい」と親に言ってもらえる数少ない場所です。彼らにとっては、リスクを取り、失敗に対処するのに、これほど

いいチャンスはないでしょう。なぜなら、スポーツの結果は致命的にはなりえないからです。あくまでもスポーツはスポーツ。ですから、スポーツで何かうまくいかないときに、わざわざ親に出てこられるのは子どもにとって嫌なことですし、その必要もないのです。

所属しているチームが安心できる環境だと確信したのなら、あとはすべて、コーチと試合の成り行きに任せてください。成功も失敗も、すべて子どもたちのものなのです。

親として言ってもいいのは「君のプレーを見てるのが楽しい」。それだけです。余計な口出しはしないで、ただ楽しむべし。筆者の個人的な見解としては、これはスポーツだけに限ったことではないような気もしますが。



幕別札幌FC 会費など納入について



(家族会員となります)

	月会費		入会金 (年度当初)		年間合計 (月払い)		年間合計 (一括払い)
新規 …	¥4,000/月	+	中学 ¥7,000	=	中学 ¥55,000		中学 ¥54,000
			小学 ¥15,000		小学 ¥63,000		小学 ¥62,000
継続 …	¥4,000/月	+	不要	=	¥48,000		¥47,000

家族会員となりますので、兄弟姉妹については二人目以降は不要ですが、ユニフォーム代については、個々にかかるものですので、全ての選手が対象となります。

☆ 4月一括納入の場合は1,000円引きとなりお得です！

(途中退会の場合、居住地移転等により明らかに継続が困難である際は返金可能です。)

月々の支払は、原則、前月の20日までとなります。

《納入方法》

【口座振替】

- ① 帯広信用金庫の口座を開設していただく必要があります。
 - ② 口座振替申込書を提出。(用紙は用意します)
 - ③ 毎月、20日に口座から振替させていただきます。
- ※ 但し、一定の人数に満たない場合は、振込もしくは直接手渡し。



【一括納入】

- ① 入会前日までに振込もしくはスタッフに直接手渡し。
古封筒にお名前を記入願います。(説明会時でも可能)

振込先

(手数料は自己負担)

【金融名】 帯広信用金庫 【支店名】 中央支店 【種別】 普通
 【口座番号】 1 2 6 2 1 4 1
 【名義】 特定非営利活動法人幕別札幌スポーツクラブ



幕別札内FC 保護者の会 役割

学年幹事さんはあくまでも連絡・調整役であり、基本的には全ての保護者の皆様で子どもたちの活動、クラブ運営を支えていただきます。

弊クラブの理念は『支え合い』です。他人任せや幹事任せといった考え方で関われる方は、弊クラブには向かないと思われまます。

1. 幕別札内FCに関する全ての活動の支援
2. クラブ主催大会やイベント時など、クラブ本体の運営に関する活動の補助
(例) 「みんなでサッカー & 焼肉」は保護者の会主管
3. 学年2名以上の幹事選出など
 - 学年幹事は各種業務での連絡・調整（学年間ならびに他の学年とも）
【主な業務内容】
 - ①大会時などのテント・チーム旗などの運搬や保管の役割分担調整
(クラブハウスや車庫などに保管可能)
 - ②大会運営の当番にあたった際の、設営・記録・撤収の役割分担調整
 - ③クラブイベント時や納会などでの役割分担調整など
4. 各学年において、少なくとも年1回の懇親会開催（ノミネーション！！）

大会日に合わせて...など日にちは各学年の判断で自由。

【留意事項】

- ☆ 大会時のチームテントなどの設営や撤収では、可能な限り子どもたちも参加し「みんなで」活動ができるようにしてください。（時間がかかっても構いません）



イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン 応援登録団体募集要項

1. キャンペーンの趣旨、目的

イオン全従業員が地域への社会貢献活動をおこなう「イオン・デー」(毎月11日に開催します)に、地域で活躍されている「ボランティア団体」などに対して、イオンがその活動に役立つよう物品をもって助成するものです。

2. キャンペーンの内容



標準的な登録期間*

登録開始月	登録終了月	贈呈月
3月	8月	10月
9月	2月	4月

*12ヶ月を登録期間とする店舗もあります。

3. 助成先団体の基準

助成先団体としてお申込みいただくためには、次の基準1～基準4までを満たすことが必要です。

基準1) 団体の活動分野 (活動内容が次の5つの分野のうちいずれかにあてはまる)

	活動分野	活動事例
1	福祉の増進を図る活動	お年寄り・障害者の介護、福祉施設、点訳・手話・朗読サークル、授産施設、養護学校、盲学校、聾学校、フリースクール
2	環境保全・環境学習の推進を図る活動	リサイクル推進活動、環境教育活動、自然保護保全活動、地球温暖化防止活動、動物保護
3	街づくりの推進を図る活動	町の清掃活動、緑化活動、景観保持活動、事故防止・町の浄化活動
4	文化・芸術の振興を図る活動	伝統芸能の保護活動、文化事業の推進、芸術ボランティアの育成、地域に根ざした国際交流・協力活動
5	子供の健康と安全の増進を図る活動	スポーツを通じた子供の育成活動、ボーイ/ガールスカウト、子ども会など子供の育成を目的とした各団体の活動

これらの活動分野の推進を行っている学校も対象とします。

基準2) 店舗の近隣にて過去6ヶ月以上の活動実績があり、活動分野の目的を遂行しながら、今後も継続的に活動できる団体。

基準3) 申込時に「団体登録申込書」「活動内容報告書」を提出、登録時に「団体登録承諾書」を提出し、定期的に「活動内容報告書(半年に1回)」を提出できる団体。

基準4) イオンデーの店頭活動、その他必要に応じて交流活動ができる団体。

4. お申込みの前に

1. 団体の活動内容や状況によっては、登録のご希望に添えない場合がございます。
2. 登録は、「1団体1店舗のみの登録」とさせていただきます。(但し、イオンリテール(株)店舗とマックスバリュ各社店舗など、運営会社異なる店舗への複数登録は可とさせていただきます。)
3. 基準を満たす団体が多数の場合、抽選や入替制などの方法を採用させていただく場合がございます。

5. 団体登録申込方法

「団体登録申込書」「活動内容報告書」の入手方法

黄色いレシート実施店舗のサービスカウンターでお受取りいただくか、次のウェブページの書式を印刷することができます。
(<http://www.aeon.info/environment/social/aeonday/form.pdf>) 必要事項をご記入ください。

申込書の受付場所・受付期間

登録を希望される店舗のサービスカウンターにお持ちください。電子メールなどによる受付は行っておりません。
受付は年間を通して行なっています。

受付から登録まで

店長・従業員による面談後、登録の有無を決定し、書面にて連絡いたします。

半年毎(店舗によっては1年毎)に、応援する団体を決定します。次の期間も登録を希望される場合は、その都度「団体登録申込書」「団体登録承諾書」「活動内容報告書」をご提出いただきます。

6. 贈呈品に関して

基本的に「イオン 幸せの黄色いレシート」実施店舗で販売されている商品から団体の活動目的に必要な品物を、贈呈額に応じてお選びいただけます。

賛助会員入会申込書

年 月 日

(ふりがな)

お名前

御芳名の掲載名

※ 御芳名の表示を希望されない場合は、以下にシ印を記入してください。
 外部に一切表示しない 印刷物への表示をしない HPへの表示をしない

ご住所

〒 -

電話番号

() -

FAX番号

() -

E-mailアドレス

ご担当者氏名及び部署

ご担当者氏名

(法人・団体の場合のみ)

部 署 名

賛助金

□

円

趣 意 書

NPO 法人幕別札幌スポーツクラブ 賛助会員（寄附金）様の募集

2021 年吉日

地域の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかたならぬ御愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。NPO 法人幕別札幌スポーツクラブの主旨に賛同いただき、クラブを支え、応援団となってくださる方を募集しております。クラブ活動をはじめ、より一層の青少年健全育成、地域住民の健康増進等のために活用させていただきます。

【クラブ理念】

～地域で子どもたちを育てる～

次世代の地域社会づくりを担う子どもたちを中心にして、幕別町にゆかりのある人々が、いつでもどこでも、個人の能力と欲求に合わせて、サッカーを中心とした様々なスポーツや文化的活動が楽しめる環境をつくる。お互いにファミリーとして支え合い、人間性豊かな子どもたちの育成ならびに地域づくりに努める。

ご寄付を頂きました皆様のお名前ならびに企業名等はクラブのHP、広報誌、その他に掲載し公開させていただきます。（公開を希望されない方は申しつけください。）

— 記 —

☆賛助会員（寄附金） 1口（個人）2,000円（法人）10,000円

☆寄附金の要領

- (1) 依頼訪問者に直接渡して頂く方法
- (2) お振込いただく方法 ※振込手数料分を差し引いてお振込ください
【口座名】帯広信用金庫 札幌支店 普通1263369
特定非営利活動法人幕別札幌スポーツクラブ

☆寄附金の期間

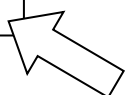
2021年4月1日以降随時
(毎年4月1日以降、新年度の応募を行う予定であります)

☆お問合せ先

〒089-0531 北海道中川郡幕別町札幌内暁町 287 番地
TEL 090-5953-8678 (渡部) FAX 0155-56-4083
ホームページ: <http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/>
E-mail: ecsproject21@gmail.com

幕別札幌スポーツクラブ

検索





【日常活動に関わって】

1. 電子メール・HP・ブログ・SNSの活用について

配布物について、基本的にはパソコンの電子メールでの配信とします。但し、お持ちでない場合は、FAXなどの対応をとります。

また、皆様から指導者への連絡につきましても、有効にご活用ください。

(緊急性のあるもの等は電話連絡をお願いします。メールを確認するには時間がかかる場合があります。)

今後事務作業の軽減・経費の削減のため、できるだけメールアドレスの取得をお願い致します。

**なお、連絡をいただく場合は、必ず選手名を明記されるなど
どなたから分かるようお願いいたします。**

(例) 「OOです。」 → ×

「Spo-RE札内4年生のOO」です。 → ○

E-mail : ecsproject21@gmail.co.jp (小田)

tumire0217@gmail.com (渡部)

hrn2ikr.0323@gmail.com (新倉)

さらに、クラブの活動に関することを各種SNSで紹介しています。

【ブログ】 <http://satsunaisc.east-hokkaido.co.jp/blog/>

【Facebook】 ブログ同様の内容をアップしています。

【Instagram】 makubetsu_satsunai_sc

【Twitter】 ユーザー名 @spo-re2000

【アプリ】



アプリダウンロード! ⇒

2. 名簿兼連絡網について

個人情報に掲載されておりますので、取り扱いには充分気をつけて下さい。

また、最後まで確実に回るようご協力お願い致します。（年に数回使用の可能性あります）

3. 承諾書について

確認いただく意味で、年度ごとに必ず承諾書を提出していただきます。

4. 練習参加について

①必ずしも毎日参加しなければいけないものではありません。他の習い事、体調不調、用事などに合わせて、無理のないよう参加してください。**様々な分野へのチャレンジを推奨しています！**

②持ち物

- ・ボール（小学生…4号、中学生以上…5号） ・タオル ・飲み物 ・温かい服装
- ・運動できるシューズ（できればスパイクシューズで） ・レガース（すねあて）
- ・その他必要と思われるもの

③練習を休む場合の連絡

【小学生】基本的には必要ありません。もしケガや長期で休むなど特別に連絡を入れておいた方がいい場合はご連絡願います。

但し、大会やイベント等を休む場合は、必ず理由とともに選手自身で担当スタッフに連絡をさせてください。（電話もしくは直接）

【中学生以上】連絡が必要です。その都度、**選手自身で**担当指導者に電話連絡をさせてください。

④雨天の場合

天候の状況によって中止の可能性もあります。メールもしくは連絡網で連絡いたします。

（原則1時間前に判断しますが、練習直前に急に中止になることもあり得ます。）

5. ソックスの購入について

【小学生】共通→赤、4年以上→黒も追加

【中学生】共通→赤・青

6. その他

- 自分のことは自分でやれるように促してください。
- 常日頃より、バランスの良い食事が摂れるようご配慮をお願いいたします。

(遠征では原則完食です！！急には食べられません。普段の意識付けです)

(「家で何度言っても食べないんですよ〜」は責任逃れです！)

- **子どもたちは大人の操り人形ではありません。「子どもたちは、子どもたちの中で育つ」**
という意識で**寄り添い・見守るスタンス**をお願いいたします。
- たくさんたくさん誉めて、励ましてください！もちろん時には叱咤激励も！！
- 子どもたちの活動を通して、大人たちも思いっきり楽しんでください！！
それが、また子どもたちにも返っていきます。

【大会参加に関わって】

大会参加に関わって、円滑な大会運営と子どもたちの育成のため、下記の点において、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

1. 駐車ならびに大会運営での当番について

「少しぐらい」「自分ひとりぐらい」といった考え方は絶対にやめてください。
これまで当クラブの保護者の皆様はルールを厳しく守ってくださっていました。
良き伝統を受け継いでいけるようご協力お願いいたします。

管内では、まだまだ新規チームですので、より一層ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

2. ユニフォームについて

クラブの所有物となりますので、取り扱いには充分気をつけてください。
返却時は洗濯をして所定の袋に**番号が見えるようにきれいにたたんで**入れてください。
(ユニフォームを返却していただく際は、その都度連絡いたします。)

3. 応援について

近年、サッカーでは、保護者の応援について危惧されています。

「チームに係る周囲の保護者からの罵声やサイドコーチング及び審判の判定に異議を示し、主審及び副審から一度注意を受けた後に再度注意を受けた場合（一度目の異議が悪質な場合は一度で）、その当事者をその試合から退席させ、監督を3分間の一時退席とする。」

※サイドコーチングとは、監督・コーチ以外の人間が選手の判断にまかせない指示を
すること。（監督・コーチであっても望ましいことではない。）

例えば、パスの指示、ポジションの指示など、チーム及び選手に対する戦術的助言
を指す。

サッカーの育成においても、「教えすぎ」について指摘され、『判断力』がなかなか身につかないということがスポーツ界・教育界での課題となっています。また、指導者・選手は、各大会各試合ごとにねらいを持って臨んでいます。大事なことは単に勝ち負けではありませんので皆様の応援も、選手を励ます応援、失敗を受け止める応援を、『楽しみながら』よろしくお願い致します。

4. 原点を忘れずに・・・（重要）

2000年6月 北公園において札幌北小学校3年生4～5名で始めた同好会

2000年8月 少年団設立

2001年4月 チーム協会登録

2001年5月 初の公式戦 48チーム中48位（無得点 47位・48位決定戦0－11）

サッカーを始めて半年ほどしか経っていない子達で試合出場。十勝管内最弱なチームでした。

そして、公式戦出場2大会目。ついに初ゴール！！

“ずっとサッカーをやりたいかったけど、やる勇気がわからず、みんなより、さらに遅れて入った子”

ゴールネットにす～っと入っていく間、そして決まった瞬間、選手・保護者・ベンチの想いが完全に一つになった時でした！！

そして、相手チームの保護者からも喜びの声。「味方にも」「相手にも」喜ばれたゴール！！

いまだにあのゴールは忘れられないクラブ史上でも大切にしていきたいゴールだと思っています。

※この年は・・・結局、冬のフットサルになって初勝利！！

小学生チーム創設時は、

「絶対に学校のグラウンドは使用させないよ。」の声。

「札幌スポーツセンターはサッカーボールは使用禁止。」

「遠征なんて何で行く必要があるの？」

それでも、子どもたちのためにご足労いただき、地域からの理解を得てきたOBの保護者の皆様子どもたちがどんなにミスをして「いいよ！ いいよ～！！」といつも誉めてくれていたお母さん方。

みんなが、このクラブの「原点**」を忘れずに、スポーツをサッカーを楽しんでいきましょう！**

地域で子どもたちを育てる

～みなさんの力をかしてください～

各中学校区という枠にとらわれず、同じ十勝地域に住む子どもたちを「地域全体で育てよう」ということを目指して活動しています。今後も、これまで以上に私たち大人が、子どもたちをしっかりと受け止め寄り添い見守っていただければと願います。

今後、さらにこのクラブが発展し、地域に根ざしていくためにも、みなさんの大きな力が必要です。そこで、どんなことでも構いません。みなさん一人一人のできる限りの力をお貸しください。

1. みなさんで、子どもたちの活動のためにご協力いただけることがあれば、ご記入願います。

(例) 「仕事柄、バスや遠征先の手配ができる。」「仕事柄、除雪の機械を持っており、使用できる。」
「大きなトラックが手配でき、ゴールを運べる。」「～の関係には、格安でできる。」「～には顔が利く。」
「パソコンが得意で～ができる。」など・・・。
どんなにささいなことでも構いません。

2. 子どもたちの豊かな活動のお手伝いできませんか？

※指導の経験の有無やサッカー経験の有無は全く必要ありません。土・日に時間が空いていて、子どもの側に寄り添うことができるだけで構いません。

※「サッカーについては未経験でも、他のスポーツの経験があり、その知識を生かすことができる」（陸上系など）

※「スポーツではないけど、『～体験』みたいなものができる」

※指導のお手伝いができる方は、できる曜日や時間帯なども分かればご記入願います。

他にも、知人で「～ができる方がいる」という場合でも、お知らせください。

選手名

幕別札幌内スポーツクラブの活動に関する承諾書

私は、幕別札幌内スポーツクラブの活動において、以下の点について承諾いたします。

- 1) 自家用車等を使用して送迎する場合は、原則的に保護者自身が行う。
- 2) やむを得ず他の方に依頼しなければならない場合、送迎中の事故などがあつた場合でも依頼した者の責任とする。
- 3) 対象者の保護者の許可を得ずに、他の子どもを送迎しない。
(但し、ケガなど緊急の場合で「保護者に連絡がつかない場合」はこの限りではない)
- 4) 大会参加に際しては、主催者の決めたルールを厳守する。
- 5) 「クラブ理念」「クラブが目指すこと」を理解した上で、子どもたちの活動に最大限の支援をする。

2021 年 月 日

選手氏名

保護者氏名

_____ (印)